

# 科学技術の基本理念と政策

## 吉川弘之先生の基調講演について



この度、日本華人教授会の第 12 回国際シンポジウムで基調講演者として吉川先生をお迎えできたことは、華人教授会議として大変光栄に存じます。先生のご講演は「基礎研究とイノベーション」をテーマとし、科学技術の基本理念と科学技術イノベーション政策の基本方針をはじめとして、エネルギー供給の低炭素化、持続性を持つ循環社会の構築、製造技術・サービス業界のイノベーションなどについて、大変示唆に富むお話を頂きました。改めて、会場の出席者と会員一同を代表して、吉川先生に心から厚く御礼を申し上げます。

なお、今日の年次大会では、中国重慶交通大学の易志堅副学長に基調講演をして頂き、中国の大学で実施しているものづくり教育の現状を報告して下さいました。



また、パネルディスカッションによる科学技術セッションが企画され、日本の学術有識者と在日華人学術有識者を中心とした文理融合の、大変有意義な学術交流が行われました。多様な専門分野の研究者と専門家が集まった国際シンポジウムで大成功を収めました。このような企画は、華人教授会が設立されて以来、はじめてのことです。これからも引き続きこのような学術交流を実施して頂きたいと思います。これからもみなさんのご指導とご支援を賜れば幸いに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 講演者履歴：

吉川 弘之（よしかわ ひろゆき、1933 年 8 月 5 日生）は、日本の工学者（設計学・ロボット工学・信頼性工学）。勲等は瑞宝大授章。学位は工学博士（東京大学）。東京大学総長、日本学術会議会長、総合科学技術会議議員、産業技術総合研究所最高顧問、国際科学技術財団理事長、日本学術振興会学術最高顧問などを歴任、1997 年日本国際賞受賞、2000 年レジオン・ドヌール勲章オフィシエ受賞。工学、産業、教育、学術行政に関する分野で要職を歴任。2005 年に皇室典範に関する有識者会議の座長を務め、女系天皇を容認する報告書をまとめる。吉川先生の専門分野は設計工学で、特に、工学の領域依存性の問題に取り組み、工学の一般的问题として設計に注目し、一般設計学を提唱。その後、設計と同じく領域横断型の問題である保全についても研究し、その一環としてロボット研究に従事。

（文責：埼玉工業大学副学長 巨東英）